

会議録

- 1 附属機関の名称
犬山市総合計画審議会
- 2 開催日時
令和3年6月17日（木） 午後7時00分から午後8時35分まで
- 3 開催場所
ビデオ会議
- 4 出席した者の氏名
 - (1) 委員 岡村 千里、ピアンキ アンソニー、奥村 哲司、松浦 英幸、丹羽 良仁、増田 修治、田村 奈々、森好 佐和子、鈴木 誠、中山 恵子、本巢 芽美、水内 智英、間中 麻耶、目黒 優衣
 - (2) 執行機関 鈴木経営部長、井出企画広報課長、高橋企画広報課長補佐、小枝企画広報課統括主査、倉知企画広報課主査
- 5 議題
 - ・市民アンケートについて
 - ・第5次犬山市総合計画等の検証について
- 6 傍聴人の数
0人
- 7 内容

(1) 開会

事務局（井出）	皆さん、こんばんは。 定刻となりましたので、ただ今より「令和3年度第2回犬山市総合計画審議会」を始めさせていただきます。 本日は、お忙しいところご出席いただきまして誠にありがとうございます。 会議の進行は企画広報課の井出が務めさせていただきます。 前回同様、今回もオンライン会議とさせていただいております。不慣れな部分もごありますが、円滑な進行にご協力いただきますよう、よろしく申し上げます。 まず、鈴木会長よりご挨拶いただきたいと思います。 鈴木会長、お願いします。
---------	--

(2) あいさつ

鈴木会長	鈴木です。皆さん、こんばんは。 豊橋の研究室にいますが、先ほどまで大変な雷雨でした。皆さんのところはいかがでしょう。その影響はないとは思いますが、早速、第2回目の総合計画の審議会を始めさせていただこうと思います。
------	---

	<p>今日は、皆さんのお手元にたくさんの資料が届けられたと思います。大変ご苦労されたかと思いますが、皆さんにいろいろと意見をたくさん出していただくという目的もあって、その材料となる資料が届けられました。</p> <p>新しい総合計画を策定する前提として、第5次総合計画改訂版の到達点であるとか、あるいはそこで残した課題といったものを、行政の立場から検証して、それを一方的に皆さんにお届けするのではなくて、今度は皆さんのお立場から見てそれがどう映るのかについて意見をいただきながら、いろんな目で犬山市のこれまでの総合計画を一度振り返る時間を持つことが今日は主となります。</p> <p>限られた時間の中ではありますけれど、皆さんのお気づきの点についてどしどしご意見をいただきながら、犬山市のこれまでのまちづくりがどうであったのかというところを意見交換していけたらと思います。限られた時間でありませけれども、皆さんどうぞ積極的にご参加いただけるように、よろしく願いいたします。</p> <p>以上です。</p>
事務局（井出）	<p>ありがとうございました。</p> <p>本日の会議につきましては、お手元の次第に従って進めさせていただき、概ね1時間半程度、午後8時半をめどに終了させていただきたいと思っております。</p> <p>本日は、委員総数15名のうち、現時点で出席14名となっています。ピアンキ委員からは、遅れて出席される旨連絡いただいております。委員の過半数が出席されていますので、本会は成立いたしましたことを報告させていただきます。</p> <p>本会議の会議録を公開するため、録画・録音させていただきこと、傍聴者のために市役所の204会議室で映像と音声を流していますことをあらかじめご承知おきください。また、会議録につきましては、事務局で作成したものを会長が指名する2名以上の委員にご確認いただいた上で署名いただくこととなっています。事前に会長と打合せしまして、本日の会議録への署名者は、奥村委員と松浦委員、よろしく願いいたします。</p> <p>それでは、ここで事前に送付した資料の確認をさせていただきます。</p> <p>別紙「はじめにお読みください」</p> <p>次第</p> <p>委員名簿</p> <p>資料1「市民意識調査（18歳以上）設問一覧（案）」</p> <p>資料2「市民意識調査（若者・子育て世代）設問一覧（案）」</p> <p>資料3「中学生アンケート（案）」</p> <p>資料4「第5次犬山市総合計画改訂版の総括」</p> <p>調査票3「総合戦略関連事業進捗状況一覧表」</p> <p>調査票4-1「地方創生関係交付金の効果検証（地方創生推進交付金）」</p> <p>調査票4-2「地方創生関係交付金の効果検証（地方創生拠点整備交付金）」</p> <p>以上となります。</p> <p>加えて、前回お配りしました第5次犬山市総合計画の改訂版と第2期「いいね！いぬやま総合戦略」をお手元にご用意いただきますようお願いいたします。</p>

（3）議事

事務局（井出）	<p>それでは、ここから議事に入ります。</p> <p>議事の進行につきましては、鈴木会長、よろしく願いします。</p>
鈴木会長	<p>わかりました。</p>

	<p>それでは、ただ今から議事を進めてまいりたいと思います。</p> <p>本日の議事は、市民アンケートと第5次犬山市総合計画等の検証についての2点になります。</p> <p>そこで、まず最初に、この市民アンケートについて、事務局から委員の皆様方に説明いただきたいと思います。よろしくお願いします。</p>
事務局（小枝）	<p>では、小枝から説明させていただきます。事前に資料を郵送しておりますので、簡潔に説明させていただきます。</p> <p>第6次総合計画を策定するにあたって、現在、3種類のアンケートを予定しています。資料1の18歳以上の市民を対象としたもの、資料2の高校3年生から39歳までの市民を対象としたもの、資料3の市内中学生1～3年生を対象としたものです。若者・子育て世代向けの調査につきましては、新しい総合計画を考えるに当たって人口減少は避けて通れない問題だと考えておりますので、若者・子育て世代を対象を絞り、移動のきっかけとなりやすい就学・就職・結婚・住宅購入、そして出産を中心とした調査を実施するものです。3種類のアンケートにつきましては、ものによって若干時期はずれますが、いずれも7月中に配付開始を予定しています。</p> <p>なお、計画に市民の意見を反映される方法としましては、アンケートに加えて、9月から10月に各種団体へのインタビュー、10月から11月に地区別懇談会を予定しているところではありますが、新型コロナウイルス感染症のこともありますので、実施方法や時期につきましては当初の予定から変更する可能性があります。</p> <p>本日は、市民アンケートについて、事前にお配りした事務局（案）を見ていただき、こういったことを聞いたほうがよいのではないだろうか、こういう聞き方をしたほうがよいのではなどの意見をいただき、調査票に反映していきたいと考えております。</p> <p>なお、設問数やほかの設問との兼ね合いもありますので、設問の追加、修正に当たっては事務局にて調整させていただく場合がありますので、予めご承知おきください。</p> <p>説明は以上です。</p>
鈴木会長	<p>ありがとうございました。</p> <p>資料の1と2と3が、今回の市民アンケートになります。事前に皆さんのお手元に届けられたと思います。また、今回、「はじめにお読みください」という資料も皆さんのお手元に届けられていたと思います。この中に、今回のアンケートの趣旨や対象、実施方法などについての概要が記されています。それを踏まえていただいて、今回のこの資料1、2、3を皆さんがお読みになって、例えば確認したいことであるとか、あるいは追加してもいいような設問とかを、ご意見あれば自由に言っていただければと思います。</p> <p>皆さんからどうでしょうか。もしありましたら、こうやって手を挙げていただけると助かりますので、よろしくお願いします。</p> <p>本巢さん、お願いします。</p>
本巢委員	<p>名古屋経済大学の本巢です。よろしくお願いします。</p> <p>アンケートで気になるところがあったので、すごく細かい話になってしまうかもしれないですけども、気になったところを挙げさせていただきたいと思います。</p> <p>まず、18歳以上の調査票で、「はい/いいえ」の2択があるかと思うのですが、これは、どちらでもないというか、中間になる設問はあえて抜かれているのでしょうか。中間の設問を設けると、結構そこに集中しがちなのであえて抜かすということ</p>

	<p>もあるかと思いますが、全体を見ると、むしろ中間の選択肢があったほうが市民の意見を吸い出せる可能性があるのではないかなと思ったので、どうして2択にしたのかなというところが気になりました。</p> <p>次は、全体に関して感じたところですが、このアンケート調査が市民の意見と考えを反映されるための方法の1つという位置づけなので、例えば2ページ目の健康に関するところで、「どれぐらいの頻度で運動を行っていますか」とか、「1日あたりに運動する時間はどれぐらいですか」という設問もちろん重要だとは思いますが、このアンケートから市政に生かそうということだと思いますので、「健康のためにどんな運動をしているのか」とかいうところを聞いたほうが反映しやすいのではないかなと思いました。</p> <p>それと同じで、暮らしについて、問5の25番、「買い物をしていますか」というところも、「はい」と「いいえ」だけなので、その頻度を知りたいのか、買い物をしているかどうかだけを知りたいのか、というところがわからなかったので、そこら辺は少し考えて質問文を作ったほうがいいのかなと思いました。</p> <p>すみません、結構長くなりそうですけれども、切ったほうがいい場合はお知らせください。</p> <p>わからないという選択肢があったほうがいいなというところもありましたので、これも個別に言ったほうがいいのか、全体を通して言ったほうがいいのかわからないですけれども。</p>
鈴木会長	<p>それでは、いろいろと修正したほうがいいところは、本巢さんからペーパーで、ここをこうしたほうがいいという指摘をいただくと、事務局で検討しやすいので、いかがでしょうか。</p>
本巢委員	<p>わかりました。</p> <p>最後に1点だけですけれども、若者・子育て世代のアンケートで、結婚するのがよしという感じに受けられましたので、「結婚したくない」という選択肢もあったほうが、これからの調査にはいいのかなと思います。</p> <p>細かいところは個別に相談したいと思います。</p> <p>以上です。</p>
鈴木会長	<p>どうもありがとうございました。</p> <p>そのほか、委員の皆さんいかがでしょうか。</p> <p>田村さん、お願いします。</p>
田村委員	<p>アンケートの形についての質問ですけれど、「18歳以上」と「若者・子育て世代」というのは、多分かぶっている人がいっぱいいる、若者・子育て世代はみんな18歳以上に入るので。これはランダムで選ばれると思いますが、それがかぶる可能性はあるのか、そこは避けるのか。18歳以上といいつつも、若者・子育て世代以上なのかということが気になりました。</p> <p>同じ意識調査が2つ来たという人がいる可能性もあるのかなと思って。やり方について少しだけ気になったので質問です。</p> <p>以上です。</p>
鈴木会長	<p>ありがとうございました。</p> <p>先ほど本巢さんからご意見いただいたところも、もし事務局で今回答すべきと思うところはしていただきたいし、今の田村さんのところは重要なことなので、まずは先に回答していただけますか。</p> <p>よろしくお願いします。</p>

事務局（井出）	<p>田村さんからの質問につきまして、このアンケートが同じ人に2種類行くのではないか、というご質問だったと思いますけれども、一応こちらで市民のデータを抽出するときに、個人としてはかぶらない形で抽出しているため、同じ人に2通のアンケートが行くということはないように配慮しています。</p> <p>本巢委員からの質問について、「はい/いいえ」の2択だけではなくて、それ以外の、「わからない」という可能性ですけれども、前のほうの設問で、「はい/いいえ」という2択が多いかと思いますが、こちらについては、実は指標として使っていたり、経年でずっと同じ質問をしているものですので、こういう形になっております。それ以外のところは、本巢委員からのペーパーをいただいた際に検討したいと思いますが、入ったほうがいいというものがあったら、内容については検討させていただきたいと思います。健康について、どういうスポーツとか取組みをしているかという設問も大切なと思いますので、設問として入れることについて検討させていただきたいと思います。「わからない」という選択肢も、設問によってはあればいいのかなと思いますので、また検討させてください。</p> <p>「結婚したくない」という、若者・子育て世代の選択肢というところでそういう人もいる可能性はありますので、それも検討させてください。設問25の前に入れるといいかなと思いますので、そちらも参考にさせていただきます。</p> <p>以上です。</p>
鈴木会長	<p>今の田村さんの質問は、実はもう1点ポイントがあって、同じ人のところに届く届かないということ以外に、仮に届いたとしても、要は聞くことの趣旨が明らかに違うものであればいいだろうと思います。若者のほうは、こちらでは17歳、高3から39歳の市民に限定しているし、一般のほうは18歳以上ということになります。大事なことは、聞く内容が重複していないかどうかということだだと思います。ですから、明らかに目的が違うということではあるので、目的に沿って聞いている内容が明らかに重複ないということが言えればいいと思いますけれども、まずその辺どうかということと、第5次の総合計画策定のとときの大きな設問の違いがあるとまずいということは、一般、18歳以上はあると思います。</p> <p>その2点について、委員の皆さんに説明されたほうがいいのではないかと思います。いかがでしょうか。</p>
事務局（高橋）	<p>事務局高橋でございます。</p> <p>鈴木会長のおっしゃるとおり、質問の目的、アンケートが同じ人にかぶっても、極端な話よいのではないかというご意見もおっしゃるとおりだとは思いますが、かなりのボリュームになっておりますので、同じ人に2通アンケートが届きますと、回収率が落ちるのではないかと懸念もありまして、こちらで市民から抽出させていただくときに、同じ人を抽出しないように3,000人の抽出をしています。</p> <p>先ほど本巢先生がおっしゃっていた、「はい/いいえ」の2択になっていて、わからないという選択肢もあったほうがよいのではないかとご意見もございました。例えば指標になっていないもの、例えば一般用の36のように、「犬山市の水道水はおいしいと思いますか」では、そもそも飲まないという人もいらっしゃるかと思ひまして、そのような選択肢を追加させていただいているものもあります。</p> <p>本巢先生、他の委員さんも、こういう設問についてはこういう選択肢もあったほうがよいのではないかとご意見がありましたら、メールで結構ですので、事務局までいただければと思いますので、よろしく申し上げます。</p>
鈴木会長	委員の皆さん、ほかどうでしょうか。

	<p>目黒さん、先にお願ひできますか。それから丹羽さんにお願ひしたいと思ひます。先に目黒さんお願ひします。</p>
目黒委員	<p>私からは4点か5点ほど申し上げたいと思ひます。</p> <p>まず1点目が、18歳以上ですけれども、9番の職業のところ、学生はどこを選んだらいいのかわからなかったの、その選択肢について教えていただきたいです。</p> <p>中学生のほうですけれども、2ページに「未定稿」と書いてあるところがありますが、この総合計画についての説明は市長さんからビデオメッセージとかがあると、中学生目線と考えてみたときに親しみが湧いて、興味も湧くのではないかなと思ひました。</p> <p>3点目が、アンケートのレイアウトはまだ作成中ということだったので、もしかしたら、ガラッと変わるかもしれないのですが、書体、フォントがユニバーサルデザインの「UD何とか」みたいなものを使うと、もっといろんな人に見てもらえる伝わりやすいアンケートになるのかなと思ひました。</p> <p>それからもう1点、レイアウトについてですけれども、アンケートというだけで結構ボリュームも多いし、「少し面倒くさいな」とか、「時間が取られてしまうな」とか、「内容が堅そうだな」というマイナスなイメージが結構あるのではないかなと思うので、できるだけ字の量を減らすようにするとか、親しみやすい感じ、身近に感じるような感じにして欲しいなと思ひます。</p> <p>最後ですけれども、先ほどボリュームが多いという話があったと思うのですが、私は一度3種類ともやってみて、18歳以上は、私がやったら22分くらいかかりました。若者・子育て世代は12分40秒くらい、中学生は約9分なので、もしかしたら事務局の方で何分くらいかかるかなという想定があったと思うんですけれども、これも参考にさせていただければなと思ひます。</p> <p>以上です。</p>
(目黒委員発言中にビアンキ委員参加)	
鈴木会長	<p>ありがとうございました。</p> <p>いただいた意見を反映させられるところも随分ありますよね。</p> <p>今事務局で何か回答したいこと、できることはありますか。</p>
事務局 (高橋)	<p>事務局の高橋です。</p> <p>ご意見ありがとうございます。</p> <p>わかりにくいのですが、8番に「お勤め等の状況」というところがあって、ここに「学生」があります。目黒さんに気づいていただけなかったということは、わかりにくいと思うので、順番のレイアウトを考えさせてください。</p> <p>中学生アンケートの市長によるビデオメッセージ、作るするとQRで飛ばすという形になるかとは思ひますけれども、出る人の問題もありますので、ご相談させていただきたいと思ひます。</p> <p>フォントが、18歳以上と若者・子育て世代はUDのフォントで作っておりますが、中学生がUDになっていませんので、こちら、UDのフォントを使わせていただきます。</p> <p>回答いただいた時間は参考にさせていただきます。何分くらいですよというのは、ネットアンケートとかだと最初に出ますので、そちらを最初に記載するなり、参考にお答えいただける形にさせていただきたいと思ひます。ありがとうございます。</p>

鈴木会長	<p>ありがとうございました。 目黒さん、いいご指摘ありがとうございました。 それでは丹羽さん、お願いします。</p>
丹羽委員	<p>今仙電機の丹羽と申します。 まず、私が最初に「はじめにお読みください」という資料を読んだときに、これは基本的にアンケートという形です。私、こういったアンケートをいろいろやっておりますけれども、先ほどお話があったように、抽出するということですね。ここに対して無作為というふうに、例えば18歳以上は書いてある。過去がどうだったか、私はわかっておりませんが、基本的に犬山市の市民全体からそういう声が届くようなアンケートの取り方をしたほうがより市政に反映できる内容が多いのではないかと。この市に生まれて育った人、年代層によってはいろいろ、考えることも違うし、思っていることも違うのではないかなと。こういったアンケートは、当社もやっておりますけれども、一番大事なことは、傾向管理ということで外せない項目、設問を必ず入れるということで、その年代ごとの傾向を取っていくということが非常に大事なのかなと。これを継続することによって、市のイメージ、まちのイメージがどういうふうに変わってきたのかなというのがわかってくるのではないかなと感じております。 設問は、皆さんいろいろご意見されているから、私は言いませんけれども、こういった工夫を取るべきじゃないかなとは考えていましたという私の感じです。 以上です。</p>
鈴木会長	<p>ありがとうございました。 そういうところのご意見として賜っておきたいと思います。 増田さん、お願いいたします。</p>
増田委員	<p>犬山青年会議所の増田と申します。 まず大きくは2点ありまして、先ほどの目黒さんのご指摘にもあったと思うんですけれども、アンケートを気軽に答える量ではないような気がしました。いっぱい聞きたいのはやまやまなので、しょうがない部分もあると思うのですが、回答率が少なくなってしまうような気がしたので、まとめられるところはまとめるとかいったことができればいいかなというのが1つ。 もう1つは、こういう質問もあつたらいいなという、逆に、増やしてしまう話になってくるのですが、私ども、市民団体が青年会議所に所属させていただいているのですが、今後、防災とかいったものを考えると、地方の例えば自治会、橋爪なら橋爪の地域の自治会に協力するとか、こういう市民団体というものに所属して何か活動するということは社会的にも重要になってくるかなというのは我々も感じておりまして、「市民について」というところ、60番、「市民参加や市民活動が盛んなまちだと思いますか」という設問があるのですが、「こういう団体に所属したいと思いますか」という質問が1個あると、自治会とかいうものを積極的にやるということもなかなか少なくなってきたので、そういうものの景気づけとかにもなってくるのではないかなと思いました。 以上です。</p>
鈴木会長	<p>どうもありがとうございました。 実は、今回の総合計画改訂版の評価、この次にやる大事な仕事ですけれども、そこにもつながってくるところをご指摘いただいたと思います。ですから、皆さんがアンケート票についてお読みいただいて、明らかにおかしいところとか、追加した</p>

	<p>ほうがいい設問、あるいは1つにまとめたほうがいいところなどは、メールでも結構ですし、できれば送っていただけると、事務局は全体の皆さんの意見をもとにして調整してアンケート（案）を作り直しますので、そここのところでご協力いただけますでしょうか。</p> <p>非常に大事な指摘が多かったので、本来であれば全員の委員の皆さんから意見をいただいてから次に行きたいところでありますけれども、限りがありますので、ご協力お願いいたします。</p> <p>中山先生、お願いします。</p>
中山委員	<p>中山でございます。</p> <p>実はちょっと気になることで、田村委員がおっしゃったことですが、母集団という対象の取り方が、若者世代と18歳以上とが重なっていますよね。なので、どちらを先にするか。どんなふうに重ならないようにするか。重なってもいいというご意見もあったのですが、重なると、また同じ回答をしなければいけない、あるいは先ほどおっしゃっていただいたように、20分×2の時間がかかるので、絶対重ならないようにして。それから、このアンケートは外にも出るものですから、重ならないように、どちらを先に選んだかというのを必ず書いておいていただきたい。そのほうが統計的な調査としてはいいのではないかとということがあります。</p> <p>これは別に今答えていただかなくてもいいですけども、回収率をどの程度想定していらっしゃるのか。もし高い回収率を想定するのであれば、あれもこれも聞きたいと思われるのは当然ですが、少し分量が多いのではないかなというのは感じました。</p> <p>あともう1個だけ。65歳以上というのは、特にはお考えにはならなかったのかなというので、逆に疑問だったので。それだけです。</p> <p>今お答えいただく必要は特にございません。</p>
鈴木会長	<p>そうですか。とはいっても、事務局も答えたいところはあるかもしれないので。せっかく中山先生に言っていただいたので、どうでしょうか。今回答したいところはありますか、事務局。</p>
事務局（高橋）	<p>たびたびすみません、高橋でございます。</p> <p>中山先生、ご意見ありがとうございました。あと、先ほどの増田さんも、いろいろご意見ありがとうございました。丹羽さんもありがとうございました。</p> <p>中山先生の、統計的に重ならないようにということで、連続で3,000人ずつ抽出させていただいておりますので、総計の資料とか最初の取りまとめのときには、どちらを先に抽出したということは記載させていただきたいと思います。</p> <p>65歳以上につきましては、65歳で単独でアンケートを取るという考え方ではなく、老人クラブさんとかがありますので、そちらの団体を通して意見聴取をさせていただこうかと考えております。これもコロナの関係はいろいろありますが、そのような形で意見聴取させていただきたいと考えております。</p> <p>以上でございます。</p>
鈴木会長	<p>ありがとうございました。</p> <p>今日のところは細かく説明されなかったのですが、犬山の総合計画策定の際の大きな特徴は、アンケートによる調査と、各種団体に出向いてのヒアリング調査あるいはワークショップ、こういったことをやりながら、今回の策定に必要な情報の収集と分析を行うということをしているかだと思います。したがって、今回アンケートで皆さんにご紹介した内容と併せて、多分次回のときには、どういう団体でどんな</p>

	<p>意見を求めたいかということについても皆さんに意見をいただくことになると思っていますので、またそこでこのアンケートで不足する部分について、意見聴取を行うべき方法と場所と対象について意見交換させていただこうと思います。よろしくお願いいたします。</p> <p>続きまして、第5次総合計画等の検証について話を移してまいりたいと思います。</p> <p>これについて、事務局から委員の皆さんに説明していただくというか、最初にやり方のところで何かありますか。どうですか。</p> <p>一応Zoomを使って、この後、審議会を2つに分けて行っていくということで今日は進めたいと思います。Zoomのブレイクアウトセッションを使って行きますけれども、最初に皆さんに説明をしていただけますか。</p> <p>よろしくお願いいたします。</p>
事務局（小枝）	<p>では、私から説明させていただきまして、その後、事務局への質問を受け付けて、グループワークセッションに移らせていただく形でお願います。</p> <p>第5次犬山市総合計画等の検証については、現在の総合計画と第2期「いいね！いぬやま総合戦略」、地方創生関係交付金事業について、委員の皆様からご意見、ご見解をいただきたいと考えております。</p> <p>画面にはそれぞれの説明を表示しておりますが、同じ内容が「はじめにお読みください」の2ページに記載されています。いただいたご意見、ご見解につきましては、担当課にフィードバックし、今後の施策や事業実施に反映させていただきます。また、委員の皆様には、現在の市の取組や課題を整理していただき、新しい総合計画を考えるに当たっての材料としていただければと考えております。</p> <p>総合計画につきましては資料4にまとめてありますが、量が多いので総括させていただきますと、人口については、目標を下回るものの、基本推計では2015から2021年までの間に約1,300人減ると推計していたところ、補正人口では1,234人減となっていることから、誇れる数字では決してありませんが、一定の効果はあったのではないかと考えているところです。人口推計につきましては、第6次総合計画策定に合わせて見直す予定ですので、その際に詳細を説明したいと考えております。</p> <p>土地利用につきましては、第5次総合計画で大きく取り上げていた新たな交流拠点の形成が新型コロナウイルスの影響で見合わせているほかは、各種規制もあって適切な土地利用が進められていると考えております。一方で、駅の近くにコインパーキング等が増えていること、また、空き地、空き家等があり、有効活用できていないという課題もあります。</p> <p>各宣言や各施策の状況につきましては、コロナの影響を多分に受けております。指標を見ると、特に、イベント・講座等への参加者数を指標としていたものについては、ほぼ全て数字が悪化しています。一部講座ではオンラインに変更したり、工夫しておりますが、以前ほどの集客には至っておりません。一方で、高齢者インフルエンザ予防接種率や市ホームページへのアクセス数など、コロナの影響によって増加している指標もあります。コロナに関係のないところでは、全体的に新たな担い手不足といった課題があると感じています。新型コロナウイルスの影響を受けて、目安値を達成できなかった指標については、各指標の右側に黒丸をつけておりますが、それ以外にも、B評価だったものがC評価になってしまった等、コロナの影響で評価を落とした指標は相当数あります。なお、資料4、3ページの記載に誤</p>

	<p>りがありました。右下ですけれども、赤字の始まりのところ、「第3章」ではなく、正しくは「第4章」ですので、この場で修正させていただきます。</p> <p>加えて、施策によって指標が適切かどうかという疑問も感じているところです。例えば17ページにある生活保護率につきましては、増加を目標としているところが低下してしまったため、評価はDとなっています。しかし、生活保護の件数が増えることはよいことなのか、また、生活保護申請となる前段階で対応できていることから、施策の目的は達成できているのではないかと考えているところです。</p> <p>次に、調査票3、第2期「いいね！いぬやま総合戦略」についてです。こちらは2019年度末に策定し、計画期間は2020から2024年度末までとなっています。調査票3では、総合戦略で新たにチャレンジするとして取組みについて、昨年度に取り組んだこと及び計画期間中に取り組みすることを記載しています。始まったばかりのため、まだ準備中のものが15件ありますが、既に完了しているものも9件あります。実施中の一部については既に新たな取組みを始めていますが、今後も継続する事業のため完了とはならず、実施中に分類されています。完了の件数について、郵送した「はじめにお読みください」では8件となっていますが、正しくは9件になります。申し訳ありませんでした。</p> <p>最後、調査票4-1、4-2にあります地方創生関係交付金事業です。4-1は、主にソフト事業を対象とした地方創生推進交付金、4-2は主にハード整備を対象とした地方創生拠点整備交付金となっています。一部につきましては既に国からの交付期間は完了しておりますが、交付金を受けるに当たって策定した地域再生計画の計画期間が残っているため、こちらに掲載しております。新型コロナウイルス感染症の影響を受けて、多くの事業がその規模を縮小、または実施方法を変更しているところです。また、新型コロナウイルスは関係ありませんが、シルバー人材センターによる高齢農家支援につきましては、2019年度までの交付期間中に課題が見えたため、方法を見直して実施しているところでございます。</p> <p>説明は以上となります。</p>
鈴木会長	<p>ありがとうございました。</p> <p>今日これから意見交換をする内容について、ざっくりと事務局の自己評価を紹介していただきました。</p> <p>ただ、それに尽きないで、ほかにもたくさん皆さんに見ていただきたいところとかいただきたいご意見があります。ここに書かれたのは、今説明があったような事務局側の評価であり考え方ですが、皆さん自身は今回の資料をお読みになってどうなのか、ご自身の意見をどしどし出していただくようにしたいと思いますので、今から2つのグループに分けるための作業をやりたいと思います。ブレイクアウトルームを作りますので、Aグループ、Bグループという形になるかと思っています。この辺のグルーピングは事務局にお任せしておりますので、それぞれのグループに所属されたら、そこで意見を委員同士で出し合っただけのようにしたいと思います。今回、2つのグループに分けるに際して、副会長がお二人いらっしゃいますので、そのお二人にそれぞれのグループでの司会進行をお願いしたいと思います。まず1つのグループは、犬山市社会福祉協議会会長の松浦さんに進行をお願いします。そしてもう1つのほうは、名古屋芸術大学の水内さんをお願いしたいと思います。それぞれのグループでこれから意見交換をします。</p> <p>では、グループ作りを行います。事務局、もうできていますか。それとも今からグルーピングをやりますか。</p>

事務局（高橋）	事務局の高橋です。 グループ分け自体は終わっておりますが、事務局で会話が混雑しないように、物理的な移動、パソコンを持って移動しなければいけないので、5分ぐらいお時間をいただきたいと思います。
鈴木会長	そうしましたら、皆さんご協力お願いします。 皆様の時計で48分ぐらいになったら再開したいと思いますので、早速準備をお願いします。グループワークの時間は、8時20分を目安にしてそれぞれのグループでディスカッションしてください。8時20分ぐらいになったら、事務局が「そろそろ戻しますよ」とアナウンスすると思いますので、時間になったら皆さん一斉にまたここへお戻りになるということになりますので、よろしくお願いします。
事務局（高橋）	ありがとうございます。 では、今からグループ分けを画面共有で出させていただきます。47分、48分ぐらいにブレイクアウトルームに移動させていただきますので、よろしくお願いします。
鈴木会長	よろしくお願いします。

【Aグループ】

事務局（小枝）	この後の流れについて私から説明させていただきます。ここでは20分までをめぐりに資料4を中心に現在の総合計画についての検証、調査票3、4-1、4-2を中心に総合戦略及び地方創生関係交付金について、委員の皆様それぞれのお立場や普段の生活の中で感じていることについて、ご意見、ご見解を述べていただけたらと考えております。当初、第1部、第2部と分ける予定でしたが、時間の都合がありますので、全てを一括してご意見いただけたらと思います。 それではこの後の進行につきましては、松浦副会長、よろしくお願いします。
松浦副会長	皆さん、こんばんは。お願いします。時間を有効に使いたいのので、挨拶、説明は短くやります。 目を通していただいたと思いますけれども、資料4と調査票3、4-1、4-2、どこの部分を取っていただいても構いません。そして、ご意見をいただくことが私は一番大事だと思っておりますので、それに対して事務局がこの場で回答が出ないということも想定しておりますので、意見重視ということで流れていければと思います。なるべく全員が参加できるような意見が出るといいと思いますので、いただいた意見に乗ってまた意見が出たり。そういった意味では、深掘りするよりは、みんなが共有できるような組立てができれば、なおいいのかなと思っております。私を入れて7人ですので、お一人当たりそんなに多くの時間は割けないかなと思っておりますが、全員にご意見いただきたいという気持ちで進めていきたいと思っております。 何かご質問がありましたら、お手を挙げていただければと思います。 よろしいですね。 それでは、先ほども申し上げましたけれども、資料4とか調査票、どこからでも構いませんので、ご意見、思うところがございましたら、ご発言できる委員からお願いしたいと思います。 本巢委員、お願いします。
本巢委員	今回、こういうまちづくりに関して初めてなので、いろいろ疑問に思うところがありまして、資料4の26ページ宣言10「誰もが愛着のもてるまちをつくります！」

	<p>のところで、引っかかったのですけれど、この宣言10を評価している項目を見ると、文化財の保存と継承ですね。それと「誰もが愛着の持てるまち」というものがどう結びついていっているかわからなかったので、愛着を図りたいのか、文化財の保存とか保護・継承について聞きたいのかがまずわからなかったということと、文化財のほうに重点を置くのであれば、宣言10の言葉自体が少し違うのかなという思いがありました。愛着を図りたいのであれば、これではない指標を持ってきたほうが、そもそも宣言10はあまり評価がよくなかったと思いますので、指標を変えるともう少し高まるのではないかなと。ここは齟齬を感じました。</p> <p>以上です。</p>
松浦副会長	<p>事務局、答えますか。僕は、答えなくても構わないかと思っています。</p> <p>僕は本巢さんの意見に乗っかろうと思ったのですけれども、私もここは同じ気持ちを持ちました。愛着っていろいろありますよね。自然とか住みやすい環境とか、本当に身近なものに愛着を感じる人もいれば、こういった歴史・文化もありますので、この形でいきますと結構分かれてしまうのだらうと思いました。ですから、どういう表現がいいのかはわかりませんが、私もこの意見には実は共感しました。</p> <p>ありがとうございます。</p> <p>本巢先生、ほかはいいですか。とりあえずこれでよろしいですか。</p> <p>ほか、次にいただける方ございますか</p>
中山委員	中山です。
松浦副会長	お願いします。
中山委員	<p>私、犬山市規模のまちづくりというのは、小さい自治体なので初めてなのですが、大きな自治体に比べるときめ細かいなという印象は受けました。ただ、「A」から「D」評価でやっていらっしゃるのですけれど、そこの中でまた「D+」とかいろいろ細かにしていらっしゃるじゃないですか。そこまで要るのかなという印象が1つありました。基準を見るときは「A」から「D」しか書いていないのに、その後ろではさらに細かい仕分けがあったので、そこまで必要かなというのが印象にありました。</p> <p>もう1つは、「D」の項目、よりによって「D」になりやすいところを選んでいるのかなという気もするのですけれども、「D」のところこそ、今後の取組みのところを、他と一緒にではなくてももう少し厳し目というか、実現しやすい方向へ持っていけるような何らかの案を書かなくてはいけないのではないかなという印象がいたしました。</p> <p>以上です。</p>
松浦副会長	<p>ありがとうございます。</p> <p>確かにご指摘のとおり、「D・D・D・D」というのは目が行くところですね。これはコロナもかなり影響しているのですか。</p>
事務局(小枝)	<p>そうですね。特に宣言9とか10とかが、講座の参加者数といった項目を指標にしているものですから、そういった項目は、コロナの関係で講座がそもそもできなかったりということがあったので、悪い数字になっています。</p> <p>あと、観光の関係です。宣言4にある観光の関係は、どうしてもコロナの関係で観光客が減っているので、悪くなっているところがあります。どうしても「D」が増えてしまったものですから、過去に目標値を達成したよというものには何か評価してあげたいと思って、プラスをつけさせていただいた経緯がございます。</p>

<p>中山委員</p>	<p>よろしいですか。</p> <p>でしたら、書いていないと、この定義は何だろうと思うので、その定義を書かれたほうがいいのではないかなと思います。</p> <p>あと、コロナの影響でということがあるのであれば、例えばアスタリスクをつけるとか何でもいいので、これはCOVIDの影響でこうなったので、改善できると思われるとか、何らかそうやって付けられたほうが、これだけ「D」があると、あまり見た目がよくないので。「D+」をつけるにしても、その意味、内容を書かれたほうがいいなということ、これはあくまでコロナ禍だからこういう結果だけでも、改善が見込まれるものに関しては、何か違う、「D」でも何か印を横につけてご説明されたほうが。これだけバーンと出ると、「え？」って思うので、工夫されたらいかがですか。そのほうが見た人の印象はいいのではないのでしょうか。</p>
<p>事務局(小枝)</p>	<p>資料4の8ページに、ざざっと内容を書かせていただいております。</p> <p>実際それぞれの指標はどうだったのというのがこの8ページ以下に書いてあるのですけれど、「+」をつけた項目がどうだということは、右下にこういう意図でつけていますことと、コロナ感染症の影響による影響ということで黒丸をつけるようにしております。</p> <p>ただ、こちらについては、「もともと優秀な指標がコロナの関係でダメになった場合に付けてください」と、私から各課にお願いしました。ですので、もともと目標値を下回るような指標については付かないという形で、ここは少し厳し目に付けております。</p>
<p>中山委員</p>	<p>でしたら、3章の前にも、「A」から「D」の評価が書いてあるところとか、もう少し目立つところに書かれたほうが、表紙の次ぐらいに書かれたらどうですか。そのほうがわかるかなという印象は受けます。</p>
<p>事務局(小枝)</p>	<p>おっしゃるとおり、順番が前後してしまっていると、今、聞いていて思いましたので、今後資料を作る際にはそのようにさせていただきます。</p> <p>ありがとうございます。</p>
<p>松浦副会長</p>	<p>言っていることは反映していただだけそうな。というか、誰もが見てわかるものを作るということですね。説明が必要ということは、まだまだ改善の余地があると考えていいと思います。</p> <p>ありがとうございました。</p> <p>目黒さん、お願いします。</p>
<p>目黒委員</p>	<p>さっきの本巢さんと松浦さんのところと、同じで、深掘りみたいになって申しわけないですけども、宣言10で、私も愛着というものと歴史・文化というものが「つながらない」とまでは言わないですけども、「そこだけではない」ということはすごく思っていて、犬山市全体でも言えるかもしれないですけども、歴史とか文化に重きを置き過ぎているような感覚を、この資料全体を通して思いました。宣言10に関しては、愛着というものは、例えば犬山市での思い出の数とか、どのくらい長く過ごしたかとか、密度とか。自分で作ったものは多くの人々が愛着を持つと思うのですけれども、そういうところもあると思うので、まちづくりとか市政への参加、参画というものも指標に入るのかなと思いました。</p> <p>あと、別のところで質問です。その前の宣言9の351番が、犬山幼稚園だけになっていると思います。気になったのが、「特別支援児受入れ数」というところで、これは他の保育園、幼稚園でも特別支援児を受け入れているのかということと、そうい</p>

	<p>う子どもを見る専門の人、そういう知識を持った人がいらっしやるかということが気になったので、ご回答いただければと思います。</p> <p>以上です。</p>
松浦副会長	<p>ありがとうございます。</p> <p>お答えできる。</p>
事務局(小枝)	<p>すみません、この場では回答できません。</p> <p>ほかの保育園とかでも特別支援児の受入れができるかというご質問だったと思いますので、調べて、後日回答させていただきます、すみません。</p>
松浦副会長	<p>答えられないぐらいの質問はおもしろいですね。よかったと思います。</p> <p>森好さん。</p>
森好委員	<p>私は本当に短期だったのですけれども、子ども未来園で臨時のパートで職員として入っていたのですけれども、未来園でも特別支援児の受入れはありました。程度にもよるのでしょうか、それに伴って、1人保育士さんがつかれてということもやってみえました。ここに犬山幼稚園しか入っていないのは、公立の幼稚園が犬山幼稚園だけですよね。という形で、多分犬山幼稚園だけが計上されているのかなとも思いました。</p> <p>どうでしょうか、小枝さん。多分そうじゃないかなと思うのですけれども。</p>
事務局(小枝)	<p>おっしゃることはそのとおりで、それにプラスアルファさせていただくと、数年前まで幼稚園は、今、保育園を管轄している子ども未来課ではなくて、学校教育課の管轄でした。今、それが子ども未来課に移行されているのですけれども、昔は別々が管轄していたので、こういうふうに分かれているのかなとは思いますが。</p>
森好委員	<p>そうですね。幼稚園は文科省で、保育園は厚生労働省ですね。管轄がもともと違う。そういった違いで、きつこうやって出てきていますね。</p> <p>すみません、口を挟みました。</p>
目黒委員	<p>ありがとうございます。</p>
松浦副会長	<p>いえ、回答でしたね。すばらしいと思いました。</p>
森好委員	<p>この辺覚えていたので、私も保育士の端くれなので。</p> <p>失礼しました。</p>
松浦副会長	<p>森好さん、ほかにご意見、感想としては何かありますか。</p>
森好委員	<p>私も、保育が専門、と言ったらおかしいですけれども、なので、女性と子育てが、私の活動、「にこっと」ではしているので、17ページ、宣言5の裏側。子育て支援のところで、ここも結構「D」が多いですね。なぜかというと、多分、核家族が増えてきていて、頼るところがないとか、相談するところがないという声はよく聞こえてきているので、恐らくそれがこの「D」の数字に出てきているのではないかとも思います。</p> <p>お母さんたちが「できない、できない」ということを思って、しゃべってはいるのですけれども、その声がなかなか届かないなというのは、どうしてかなと。市役所では、こういう声が大分来ているのですかね。未来課とか相談という形で。今のお母さんたちが人に頼ることができないのか、知らないのか、苦手なのかわからないですけど、このあたりを相談しやすく、頼りやすくということも私たちの団体の課題でもあるのですけれども、こういったところを充実させていくことで、さっきの人口減少のところにもフックがかかってくるのかなとは思っています。</p>

	<p>やっぱり子育てのところが「D」ということは、子育て世代を代表してここにいる身分としては、私は大分大人になりつつある子どもなのであれですけども、すみません、疑問、質問というよりも、このあたりは私の実感するところです。自分たちとしても、ここを支援して応援していけるといいかなと思っています。</p> <p>一応母親の目線と保育士の目線と両方の目線を持っているので、おこがましいかもしれませんが、協力していけるところがあればいいかなと思っています。</p>
松浦副会長	<p>ありがとうございました。</p> <p>ほか、ご意見、あとお二方まだ。</p> <p>増田さん、お願いします。</p>
増田委員	<p>ありがとうございます。増田です。</p> <p>意見というか、これを読んだ感想に近いのですが、僕らはあくまでも市民団体の代表として来ているというところもあるので、この宣言の3番と宣言の5番あたりが少し気になっていました。</p> <p>宣言3番の「市民と行政が一体となり・・・」というところは、評価でいうと「C」が多い。「誰もが安心して・・・」で言うと、例えば「福祉ボランティア登録人数」というところが「D」ということで、結局、市民参画というところがやっぱり弱いのではないかなということを感じました。</p> <p>今回、僕たちがこういうふうに参加させていただいているのも、市民と行政をつなぐ橋渡しの部分だと思うのですが、やっぱり一般の犬山に住んでいる市民の方々というのは、行政は行政、市民は市民、と分けて考える人が多いと思います。こういった一般の市民団体であったりが橋渡し、間にいると、行政との関係性がもう少しよくなるのではないかなと。ですので、個人的には、こういう市民団体とかに、一般の市民がみんな参加したりして、行政のことを一部知るところが非常に重要だと思っていて、そういう機会を設けるところが、コロナというのもあったかもしれないですけども、もう少し強力でできると、もっといい市になっていくのではないかなと思います。市というものを構成するのは、行政ではなく、あくまでも市民だと思いますので、市民がいないとやはり市としても存続できないので、この市民の人たちが、例えばコミュニティーを独自で作るとか、ボランティアをしてみるとか、そういった意欲が生まれるようなまちづくりできると、非常に魅力的なまちになっていくのではないかなと思うので、我々も市民団体の代表として来ているので、他の団体さんも含めて何か橋渡しでいろんな団体がつながって犬山市が活性化していければいいかなと感じました。</p> <p>以上です。</p>
松浦副会長	<p>ありがとうございます。</p> <p>行政は市民のバックアップですね。</p> <p>最後、ビアンキ先生、お願いします。</p>
ビアンキ委員	<p>ありがとうございます。まず、今日は少し遅れて会議に入って申しわけありません。</p> <p>少しまとめにくいのですが、宣言3で、今の行政と市民の話もあったのですが、多分先輩も思っているかもしれないが、市民と行政だけではなく、市民と行政と、議会も考えていただきたいと思います。例えば、我々の議会で今、前よりも市民参加を図ろうとしています。フリースピーチ制度など、やっぱり市民が直接議会に意見が言えるように。それで我々が協議して、行政と協力すれば、市民が望むまちづくりとか改善などにつながればいいと思います。参画ですね。</p>

	<p>もう1つは、宣言9の「豊かな心」か宣言10「愛着」のどちらに入るのかなとずっと思っていたのですが、とにかく歴史・文化は犬山はもう豊かです。しかし、観光も考えてみると、新しい文化、現代文化、音楽とかをもう少し味わうことができればいいと思います。今回、観光は大変でした。外国人の観光客はコロナであまり来なかったのですが、来ると、例えば日本の伝統文化と他の文化も楽しむことができるような、私のわがままを言えば、音楽がもう少しあればいいと思っております。</p> <p>話があちこちで申し訳ありません。そのようなことを感じております。</p> <p>以上です。</p>
松浦副会長	<p>ありがとうございます。きっと、回答はなくてもいいお話でしたよね。</p> <p>時間があと少しありますので、私も意見を言いたいと思います。皆さんからほぼ出し尽くされたものに少し上乘せする程度の、いいとこ取りみたいな話になるかもしれないですけど。</p> <p>市民活動、これもよく出ましたね。宣言3あたりです。市民活動を行っている市民の割合というものがなかなか上がらないということがありますが、何ををもって市民活動を指すかという、数字が落ちてしまうのかなと思います。何か登録された団体、昔からあるようなイメージされやすい団体、既存の団体。そういったものベースで拾っていくと、多分下がってしまうと思います。町内会の組織図なんかを見るとそのとおりだと思うのですが、だから、何ををもってというものによって数字が変わってくると思っています。というのは、どんな趣味の団体でも、今は市民活動になり得ます。実は、私はオートバイに乗ります。同じような年代が5人集まれば、何かやろうとします。ある程度の年になると、何か少し、いいこととは言いませんけれども、何か骨折してみよう。簡単に言えば、ごみを拾ったりです。オートバイの団体がごみを拾うというのは結びつかないからあまり言わないでしょうけれど、そんな切り口で拾っていったら、すごく小さな市民活動はたくさんあると思います。オートバイばかり言って申しわけないですけども、オートバイだと、車と違って道路の状態がすごくわかります。歩けばもっとわかるのですが、歩くのは限界があります。簡単に言うと、アスファルトが悪いとか凸凹とか、そんなことがすごくわかります。自転車の人もそうだと思います。それで行政に注文つけるのではなくて、「こういう悪い部分があるよ」というものの伝達、それも1つのボランティアになっていくでしょうね。自分たちもそれが市民活動とは思ってはおりませんけれども、そういうふうに捉えれば、評価が悪いからといってがっかりする必要も必ずしもないのかなと思いました。</p> <p>それと、目黒さんが言った愛着の話。これ、私も思います。愛着というのは、個人的な思い出の積み重ねのほうが、僕は愛着が深まると思います。すばらしい歴史や文化とか景観というものもありですけども、むしろ、本当に小さなときにモンキーパークへ行ったとか。そういったもののほうが実は愛着の評価は高い可能性があります。だから、これもさっきのオートバイの団体と似ていますけれども、「何ををもって」と考えると、切り口は本当にあります。といて、限られた紙面でそれをアンケートに出すのは難しいですけども、そういった考え方というか、読み取る力が市民も行政も深くなれば、数字以上の中身が上がってくるような気がしましたので、読み取る力をみんなで、市民も行政もつけていくと、とてもいいと思います。</p> <p>あと、ビアンキ先生も少し言ったかな、増田さんがおっしゃった、行政と市民がまだ少し離れている。これも多分、市民が今はいい意味で自立心が強いからだと思</p>

	<p>います。私、商店街にも身をずっと長く置いていた者なのですけれど、昔は「補助金ください」という団体が多かったのですが、今は本当に自立していこうという意識が強いから、一見距離が離れているように見える、という考え方もできるのかなと思います。</p> <p>取り留めのない話でしたけれども、大体いただいた時間が来ましたので、終わりたいと思います。</p> <p>あと、ここで、皆さんから意見を頂くことを、次回、7月29日にもう一度これをやろうか、今日で取りまとめまで終わりにするのかということをお伺いしたいと思います。今日で大体皆さんのご意見が出たということであればよろしいですし、「いやいやもう少し」、「もっと」という部分があれば、次回7月29日にやろうか。やるかやらないかですね、そこをお伺いしたいと思いますけれども、どうですか。皆さん思いは深いから、十分ということはないかなあれですけれども、ご意見としては一通りおっしゃっていただけましたか。</p>
出席委員	(意見なし)
松浦副会長	では、事務局さん、よろしいですか。
事務局(小枝)	<p>ありがとうございます。</p> <p>先ほどのアンケートの関係もありますので、今日言いそびれてしまったとか、後から思い出したということがありましたら、併せて1週間ぐらいをめぐりにメールをいただければ、対応させていただきますので、よろしくお願いたします。</p> <p>今日これで終わったから、言う機会がないということではないので、またよろしくお願いたします。</p>

【Bグループ】

事務局(井出)	<p>進め方について説明をさせていただきます。</p> <p>先ほど鈴木会長からお話がありましたが、8時20分をめぐりに資料4、調査3、4-1、4-2を中心に総合計画、総合戦略、地方創生関係交付金について、委員の皆様それぞれのお立場や、普段の生活の中で感じることにについて、ご意見やご見解をいただけたらと思います。委員の皆様の自由な意見交換をメインにさせていただいて、それを我々は意見として参考とさせていただこうと考えておりますので、よろしくお願いたします。</p>
水内副会長	<p>よろしいでしょうか。</p> <p>私がこの場を進行させていただきます。よろしくお願いたします。</p> <p>時間もかなり限られていますので、その中で資料4の総合計画第5次改訂版の評価まとめと、調査票3、4-1、4-2というところで、総合戦略、地方創生関係交付金の評価という2つに便宜的に分けさせていただいて、8時10分ぐらいを目安に、まずは総合計画に集中してご意見を少し頂いて、残り10分ぐらいで、その他の総合戦略と地方創生関係交付金についてのご意見をいただければと思います。</p> <p>ざっくばらんということで、今からそれぞれお一人ずつご意見をいただきたいなと思っています。できれば、事務局に対して何か質問して応答することよりも、委員の間で、正しいとか間違っているということではなく、委員の皆様のそれぞれのご経験とか専門的な立場、そういうところから率直なご意見をいただければなと思っています。そんな感じでよろしいでしょうか。</p> <p>では、進めさせていただきます。</p>

	<p>1人2～3分ぐらいでお話しいただければと思いますが、資料がかなり膨大ですので、やっぱり当てていくというよりは、挙手制にしましょうか。何かご指摘やご意見。</p>
鈴木(温)委員	<p>鈴木ですが、よろしいですか。</p> <p>最初、問題提起みたいな形で私からお聞きしたいことがありますけれども、よろしいですかね。</p>
水内副会長	<p>はい。</p>
鈴木(温)委員	<p>私、これを見てどう解釈したらいいのかなと思って。</p> <p>資料4の2ページ目のアンケート結果、まちづくりの達成指標とアンケート結果の推移のところ。上の2つは、「住み続けたいと考える」と、「安全・安心を実感して心豊かに暮らせるまちだと思ふ」は、アンケート結果が上がっています。しかし、その下のところ、「つながり・支え合いを大切にしている」と「まちに愛着を感じている」が下がっている。この下の2つが下がっているのがすごく気になりまして、住み続けたいと思っているのだけれども、つながりとか支え合いがなくなっているのではないかと、あるいは愛着も少し下がっているのではないかと。</p> <p>私、犬山市民ではないので、実感としてどういう感じなのかというのがわからないところがありまして、特にやっぱり住まわれている人に、この結果をどう解釈したらいいのか、16年から19年の間、何か変わったこととかをお聞きしたいのですが、いかがでしょうか。</p>
水内副会長	<p>私も在住ではないのでわからないところがあるのですが、確かにご指摘の点というのはこの中で議論してもいいのかなと思います。</p> <p>犬山にお住まいの方とか、この指標のある種のずれについて何か、ここじゃないかというポイントを持たれている方いらっしゃいますか。確かにちょっと矛盾していますよね。住み続けたいのだけれども、愛着があまりない。それは、利便性は高いけれどもということなのか。住み続けたいと思う理由ですね。逆に、愛着があまり感じられないとかつながりが感じられないということに対しての理由というものを掘り下げていくと、次の総合計画の大事な部分になってくるような気がします。</p> <p>ありがとうございます。</p> <p>いかがでしょうか。</p> <p>間中さん、よろしくお願ひします。</p>
間中委員	<p>当てはまっているのかはわかりませんが、犬山市、城下町がどんどん発展しているなということは感じていて、住んでいる身として、城下町が発展しているけれども、それによって自分たちに何か変化があると言われると、そんなに変化がなく、ちょっと切り離されて、そちら側がすごく盛り上がっているなというか。実際的に城下町の中で日常的に利用できるお店は、やっぱり値段も高かったりして。一応子育て世代ですけども、子育て世代としてはなかなか行きづらかったり。というところがあるのかなということも1つの要因かなと思いました。</p>
水内副会長	<p>ありがとうございます。非常にいいご指摘かなと思います。</p> <p>これまでの10年間とこれからの10年間を考えると、おそらく観光というものが主要なものに育ってきたという、1つの成果として認められる部分がある一方で、それがあまり周辺の地域の、犬山市の他のエリアの皆さんにとっての利益になかなかつながっていないのではないかとすることは確かにありますよね。観光と暮らしとのつながり、関係ということですよ。ここの部分が、もしかすると次の総合計画</p>

	<p>でしっかり考えていく、全体の利益につながるような仕組みづくりをするということをはじめ、そういうことが必要ですよ。</p> <p>ありがとうございます。</p> <p>丹羽さん、よろしくお願いします。</p>
丹羽委員	<p>今仙電機の丹羽です。</p> <p>私自身は犬山には住んでおりませんが、会社が犬山にあるということで、長年こちらに勤務させていただいています。</p> <p>感じる場所は、人が住むということは何かというと、そこに衣食住の満足感があるかという問題がまずあると思います。先ほど少しおっしゃられましたけれども、やっぱり観光化してきているというイメージが非常に多くて、コロナ前はインバウンドの人がかなりみえた。城下町もきれいになりましたというところでは、観光都市というところが進んできているのかなと思います。</p> <p>「食」という文化です。こういう文化が犬山にあるか。あと、「衣」です、着るものです。買い物とかいったものの利便性がこの町に住んでいる人がよくなったと感じているところは少ないのかなと非常に感じる場所があります。というところで、やっぱりアンケートを取ると、住んでいるから住みやすいことは住みやすい、緑が多いですから住みやすいとは思いますが、衣食住の住は満足されているかもしれませんけれども、衣食とといったものに満足されているかということ、そうではないのかなと。もっと利便性が高いところもあると思われているから、こういう結果が出る傾向にあるのかなとは少し感じました。</p> <p>以上です。</p>
水内副会長	<p>ありがとうございます。</p> <p>議論が固まってきて。確かにそうですね。衣食住という日常。さっき間中さんもおっしゃったような、市民生活、日常の生活に観光ということが、なかなか直結、いい方向に十分回っていないのではないかとこの指摘がこのグループからできそうだなと思いました。</p> <p>ありがとうございます。</p> <p>岡村さん、いかがでしょうか。</p>
岡村委員	<p>ありがとうございます。</p> <p>皆さんの発言、私もとても納得しているところです。私は若い頃、一旦犬山を離れて静岡に行ったりして、逆に、戻ってきて犬山のよさを再発見したという、非常に愛着が湧いているのですけれども。確かに住んでいる地域によって、地域のつながりとか支え合いというところではやはり温度差があるのかなと思います。私が住んでいるところは、新興住宅地ではありながらも、古くからいらっしゃる人たちととてもいい感じで、町内会の運営とかもできているのですけれども、地域によってはなかなか若い人が入っていないくて、町会長さんを選ぶのも大変だという声も聞いておりますので、そういったところでの温度差があるのかなと思っています。</p> <p>以上です。</p>
水内副会長	<p>ありがとうございます。</p> <p>貴重なご指摘ですよ。地域の格差みたいなものもありますし、住民の声を吸い上げていくような組織体、町内会というものがどこまで機能をこれからもしていくのかどうか。それに代わるような新たな住民の自治的な組織というものが作れるのかどうかということも、今後10年間考えていかなきゃいけないでしょうし。特に若い世代の人たちにとって町内会というものがどうなのか。学校単位ということは恐</p>

	<p>らく地域の中ではあると思いますし、そういったものの関係で実は地域のつながりの強い弱いとかいうことが関わってくるのだらうなというのはいいご指摘だと思いますので、全体に報告を上げていきたいと思います。</p> <p>ありがとうございます。</p> <p>発展的な議論になっていていいですね。皆さん、ご協力ありがとうございます。まだしばらく時間はありますので、いかがでしょうか。</p> <p>田村さん、お願いします。</p>
田村委員	<p>皆さんの意見とかぶるところもあると思うのですが、私は二十歳の集いの実行委員、成人式の実行委員をやっていて、そのOBとして、今年二十歳になる子とか、20代前半ぐらいのOBの子たちと話していて、「今日、みんなで遊びに行こうよ」となっても、なかなか犬山市内ではならない。もちろん城下町とかも、良くも悪くも行くたびにお店が代わっていて、行くたびに景色が変わっている。地元の人ではなくて、観光の人が上げたインスタグラムで新しい店があるのを知る、みたいな状況です。私は特に扶桑寄りのところに住んでいるので、城下町とかふだんあまり見ないので、本当にすごい人出ということです。二十歳ぐらいの子からしても、「どこか遊びに行こうよ」となったときに、どうしても市内でどこか行こうよとならない。清水屋さんがなくなってしまって残念だけれども、その次に何ができるのかなと思っていたら、どうなるかまだわからないですけれども、今のところ薬局みたいな感じ。</p> <p>観光地は観光地で、もう1個、地元の人が憩いの場になるところ、例えば私自身の趣味だから、みんながどう思うかわからないけれど、大きい本屋さんがあったらいいなとか、映画館があったらいいなとか、そういうカルチャー、文化的な面である世代の人、性別、国関係なくいろんな人が関わられるような場所があったらいいな。言うのは簡単ですが、そういうことを同じぐらいの世代やもう少し下の世代の犬山の子たちと話していてよく思うことです。</p> <p>あと、地域のつながりという点だと、これはどこまで本当なのかわからないですけれども、少し上の世代の人と話したときに、やっぱり地区によっては、一見さんというか外から来た人について、「どうしても外からの人に対する抵抗感を持っているという地域が犬山もあるよね」ということを話しているのを聞いたことがあるので、新しいものを受け入れる気持ちとかをいろんな世代の人と共有できていけたらいいなと思っています。</p> <p>以上です。</p>
水内副会長	<p>ありがとうございます。</p> <p>確かに若い世代の人たちが集える場所とか、衣食住の話もありましたけれども、日常的に使える場所が、実は観光地化することによってなくなってきているのではないかと指摘ですよね。それは非常に大事だと思いました。</p> <p>地域によって、もしかすると「ムラ的な」と言う変な言い方ですが、まだまだ疎外感を感じるようなこともあるのではないかと。そういうことをどうやって橋渡ししていくのか、若い人たちにも犬山に愛着を持って住み続けてもらえる場所になるのかということも、この総合計画で議論すべき点ですね。</p> <p>ありがとうございます。</p> <p>では、奥村さん、お願いいたします。</p>
奥村委員	<p>生まれてからずっと犬山で生活をしております。そういう意味では、地元に住んでいる者の立場から思うのですが、それぞれ皆さんご指摘いただいたこと</p>

	<p>は、住んでいながら感じることです。田村さんがおっしゃった、地域においては外からの人をあまりウェルカムとは思わないようなという、先生が「ムラの」とおっしゃったのですけれども。私は、「ムラの」なものもあるかもしれませんが、城下でもあると思います。城下町特有の部分もあるのではないかと個人的には思っています。</p> <p>もう1つ、今のテーマにあります、地域でのつながり・支え合いを大切にしている市民の割合が少し下がっているということは、やっぱりこの1年2年3年の間に、社会が3年間で変わるとことや、アンケートに答えられる世代の影響もあるのかなと思ってみたりもします。私自身は、今になって犬山に愛着を感じるほうですけれども、若い頃はもっと都会へ出ていきたいなと思っておりました。そういう人の中で、社会とか時の動きとかいったものがここに表れているのかなと思いました。</p> <p>以上です。</p>
水内副会長	<p>ありがとうございます。</p> <p>確かに犬山独特のということが、僕もあまりよくわかっていませんが、城下町ということの、閉鎖的なこともあるかもしれませんが、いい意味で言うところの濃いコミュニティがまだあるとも読んでいけるかなと、今話を聞いて思いました。</p> <p>確かに時代の変化が非常に速いということもポイントですよ。住み続けたいのだけれども、愛着やつながりは面倒くさいから要らないよという人たちの割合が実際に増えているのかもしれないということで、それをどう捉えるのかということも考えていかないといけないなと思いました。</p> <p>これはすごく個人的な感想ですけれども、奥村さんの、若い頃は都市へ出ていきたいと思っていたのだけれども、年を重ねるにつれて徐々に犬山に愛着を感じるようになるという、長期スパンで愛着みたいなのを見ていくということも、いろんな世代によって、属している社会の広がりや恐らく違ってくると思いますので、誰もが、みんながつながって愛着へということだけではないような気もちよっとなりました。その辺は細かく議論できたり、戦略的に考えられるといい成果が出せるのかなと感じました。</p> <p>ありがとうございます。</p> <p>それぞれご発言いただきまして、ちょうど。素晴らしいですね。皆さん、ありがとうございます。</p>
鈴木(温)委員	<p>一言よろしいですか。</p> <p>私から投げかけさせていただいた問題提起に対して、非常に実感のある、すごくイメージが膨らんだ皆さんのご回答をいただいて本当にありがとうございました。</p> <p>やはりポイントになるのは、新しく入ってきている人とずっと長く住んでいる人の距離が少しあるというか、あるいは観光で来られる人も含めて、住んでいる人とまだ少し距離がある。それがだんだんだんだん時間の経過に従って、新しい人が結構入ってきているのか、それが広がっているような感じがしました。</p> <p>私も、転入・転出のアンケートとかを見させていただいたときに、転入者が単身の人が非常に多くて、単身の新しい人がかなり多くなっているのかなということも思っていました。あと、外国人も多くなっているのですか。そういうところで、やはりもともと住んでいる人と違う属性の人が結構増えてきているのかなと。なので、これからそういう傾向、人口を増やそうと思うと、やっぱりどうしてもそういうジレンマと言うのですか、新しい人が入って来られるわけなので、その多様性を</p>

	<p>これからどういうふうによく確保していくのか。みんなが愛着を持てるにはどうしたらいいのかということが、これから大きな課題だなと思いました。</p> <p>細かいことで申しわけないですけども、田村さんがおっしゃっていた、若い人は犬山の地元にあまり遊びに行かないという話で、どこへ行かれているのかなというのを聞きたかったのですが。名古屋へ出てしまうのですか。</p>
田村委員	<p>私だと、会社が名古屋にあるので定期もあるし、電車で名古屋へ行くことが多いです。犬山は岐阜がすぐ隣なので、岐阜の自然のほうへ遊びに行ったりとかもできます。そういうことを考えると、自然のほうにも遊びに行けるし、電車一本で名古屋までも出られるし、立地的にはすごい便利なところではあると思います。遊びに行こうとなったときにいろんな選択肢があるという点で、すごくいいところだなと思います。それにプラス、地元、近くにあったらいいかなという意見です。</p> <p>遊びの内容にもよりますが、多分名古屋に出かけるという人が多いのではないかなと思います。</p>
鈴木(温)委員	<p>ありがとうございます。</p> <p>すみません、長くなりましたが、私からは以上です。</p>
水内副会長	<p>ありがとうございます。</p> <p>間中さん、お願いいたします。</p>
間中委員	<p>どこへ行くかという話をしたかったのですが。</p> <p>私たちの周りでも、犬山は土地利用計画図では自然のゾーンと都市ゾーンみたいに分かれているのですが、せっかくこんなに自然があるのに、まさしく田村さんが言っていたように、自然を求めて各務原へ行ったりしています。こんな近いのにもったいないなというも思います。こっちに何でみんな行かないのかなという。カフェとかマルシェとか、犬山にももちろんありますけれども、圧倒的に各務原方面へ行くなという印象があるので、ここを結びつけるものがあるといいのかなと、私もこれからこの会で提案していけたらいいなと思っています。</p> <p>以上です。</p>
水内副会長	<p>ありがとうございます。確かにそうですね。</p> <p>皆様の議論が交錯しながらもまとまっていく感じが非常におもしろいなと思います。ながら聞いているのですが、確かに犬山にも自然が豊かな地域があるにも関わらず岐阜へ行ってしまうとか。犬山にも、観光ということに少し違和感があるという話もありましたけれども、マルシェ的なこともやっているの、それがまだまだ、特に若い人中心に届いていないということも言えるかもしれないですね。</p> <p>ありがとうございます。</p> <p>そのほか、いかがでしょうか。</p> <p>よろしければ、あと5分ほどになってしまったのですが、総合戦略に関わらず、犬山全体的話をさせていただいているので、このあたりでいいかなと思うのですが、特に総合戦略のほうですかね。調査の3、4-1、4-2を見ていただく中で。</p> <p>奥村さん、お願いいたします。</p>
奥村委員	<p>総合計画の3ページに、今までの進捗状況で評価の一覧が出ております。私、見させていただきまして、具体的にあまり言わなくて、まとめてしまうのですが、高い評価を受けてもいいなという部分と、これは一定の評価がされるかな。例えば犯罪が少ないとか、防犯・交通安全のところは一定の評価がされているとか。あるいはもっと評価されてもいいのかな、どうして低いのかなと感ずるものもありまし</p>

	<p>た。たまたま事務局が、先ほど指標のことで生活保護のことをおっしゃいました。あの指標は現状のことを言っているだけで、それが評価につながるとは到底思えません。例えば生活保護の受給者の方が就労できたかとか、あるいは就労できることによって増収ができてきているのか。その結果、生活保護から外れるといいますか、廃止されるとかいうことのほうがもっと評価に値することのような気がします。他にも、例えば水道料金であります。水道料金がこの指標の中に出ていないですけども、実は犬山市は、13ミリ管の給水管でいきますと、元年データぐらいですか、県のデータを見ますと、豊橋市に次いで県下2番目に安いです。そのことがここには、配水管が敷設されていないからとか、有収率が目標に達していないからということとD評価になっているのだけれども、もう少し評価されてもいいものがあるのではないかという気がしました。ですから、もっと評価されてもいいかな。なぜ低いのかなという問題は他にもいろいろ感じます。今度新しい総合計画を作っていく際には、そういった指標を持つべきではないかと思いました。</p> <p>そのほか、ここの評価の中では、やはり難しい課題、そう簡単には、6年・6年、12年ぐらいではクリアできない、そういう意味では犬山市のこれからも続く課題かなと思われるものもたくさんございます。</p> <p>そんなことをこの3ページでは、全体を見ながら思ったところです。</p> <p>個々の評価については、またレポートにまとめるなり何かしたいと思いますが、以上です。</p>
水内副会長	<p>ありがとうございます。</p> <p>評価基準の作り方、そのあたりは毎回苦勞するところであると思いますけれども、非常に重要な、具体的なお指摘をいただいたと思っています。</p> <p>時間が残り1分になってしまったのですが、もう1人2人、もし1分でということであれば、いかがでしょうか。</p> <p>ありがとうございます。</p> <p>非常に建設的な、と言うのでしょうか、皆様の意見がつながりつつも発展的な議論が、短い時間でしたけれどもできたかなと思います。</p> <p>この後、全体に戻ってまとめるのですけれども、上手くまとめられるかどうかわかりませんので、もしここだけはということがあれば、補足いただければと思います。</p> <p>ありがとうございます。</p> <p>そんなところで、このグループは終わりにしたいと思いますが、よろしいでしょうか。</p>
事務局(井出)	<p>大変短い中で内容の濃いご意見をいろいろいただきまして、本当に参考になりました。</p> <p>事務局としては、第3回、7月の会議の予定もしているのですが、今日ある程度意見を出せた、プラス後日、ペーパーのようなものも出していただけるというお話で、第3回は同じ内容なので必要あるかないかというところ、皆さんの感覚をお聞かせできたらいいなと思っているのですけれども、いかがでしょうか。</p>
水内副会長	<p>振り返りの部分について、まだまだ煮詰まっていないのもう少しという話か、大まかにはこれで次に進めるのではないかとこのあたりのご意見はございますか。</p>
出席委員	(意見なし)
水内副会長	<p>もう1つのAグループとの関係の中で、そこに委ねていくという感じでよろしいですか、皆様。Bとしてはそんな感じにしたいと思います。</p>

ありがとうございます。

【全体】

鈴木会長	<p>皆さん、どうもありがとうございました。熱心な意見交換をしていただきまして助かりました。ありがとうございます。</p> <p>皆さんの発言は全てレコーディングしてありますので、また生かさせていただくようにしたいと思います。</p> <p>それでは、それぞれのグループでいろんな意見交換があったと思いますので、ほんの少しご紹介いただきたいなと思います。まず、それぞれのグループから副会長さんに1分ずつぐらいで紹介をしていただきたいと思います。</p> <p>最初に、松浦さん、お願いできますか。</p>
松浦副会長	<p>では、いただいた意見をそのまま、箇条書きじゃないですけども、述べたいと思います。</p> <p>まちの愛着という指標があったのですけれども、その愛着が、文化的なことの切り口が目立つ。それだけではなくて、愛着にはいろんな種類があるから、文化も大事ですけれども、いろんな切り口から愛着が湧くというまちづくりがあるのではないかというご意見がありました。</p> <p>あと、「A、B、C、D」という形で評価されているものがあるのですけれども、それだけでは伝わりにくい部分がありますので、注釈的なことを添える必要があると。むしろ注釈のほうが大事ではないか。暗い中に明るいものを見つける、いい数字の中に問題点を見つけるということで、そういった注釈というものをつけ加える方法がある。</p> <p>愛着の話というのは複数の人からありました。</p> <p>子育て支援の評価が、数字としてはあまりよくないということがありましたけれども、決して犬山の施策が劣っているとは思わない。そのやっぱりPRの方法。それと、最近の若い奥さんはあまり頼らないとか、聞いたがらない部分があるのであれば、そこを上手くくっつけていく必要があるのではないか。</p> <p>それから、市民活動について、まだまだ市民と行政の乖離。立ち位置の違いでしょうね、立っている視点が違うからということで、そこを埋めていく必要性があるということです。</p> <p>さっき、愛着の中で文化というお話があったのですけれども、文化というものには、例えば音楽とか新しい文化もある。犬山の文化というのは、古いものだけではなくて、そういった新しいものとか触れないものといったものも文化であり、それが愛着につながっていくというご意見もいただきました。</p> <p>以上です。</p> <p>取りまとめがありません。皆さんのいただいた意見をそのままお伝えしたということでお許しいただきたいと思います。</p>
鈴木会長	<p>どうもありがとうございました。</p> <p>それでは、もう一方の水内さん、よろしくお願いいいたします。</p>
水内副会長	<p>ありがとうございます。</p> <p>非常に活発に意見交換、議論と言いますかね、発展的な意見交換ができましたので、1分でまとめられるかわかりませんが。</p> <p>どなたの意見というよりは、全体として、まず、指標の評価を見ていくと、住み続けたいと思っている評価ある一方で、愛着が感じられない、つながりを感じにく</p>

	<p>くなっているという結果が読み取れるのではないかとのご指摘がありまして、そこからいろんな議論になっていきました。</p> <p>1つは、おそらく観光地としての発展というものが、近年非常に目覚ましくて、一方では、城下町が発展しているのだけれども、実はそれが他の地域の市民生活にいい影響が与えられているかどうかを実感されていないのではないかとご指摘もありました。観光とその他地域の生活との関係性です。それというのは、やはり衣食住ですかね。日常的な生活に観光というところがどういう影響を与えられるのかということがあるのではないかと。</p> <p>住んでいる地域によって、実は地域のつながりに温度差があるのではないかとご指摘もありました。地域の自治組織で町内会などがありますが、そういうものが機能しているのか、今後もそういうものを中心に行っていくべきかどうかという視点も投げかけられました。</p> <p>それから、若い人たちにとっては、城下町は非常に観光地でお店の変化も速くて、若い人たちが遊びにいくような、集まっている人々と交流するような場所がないのではないかと。犬山には、探していけば、おそらくそういう場所もあるのかもしれませんが、利便性がいいということもあって名古屋へ行ってしまおうとか。自然は犬山にたくさんあるのですけれども、岐阜のほうへ、各務原のほうへ自然を見に行ってしまうというように、そこがうまくマッチされていないのではないかとご指摘もありました。</p> <p>城下町独特の濃い地域性。良く言うと、非常に濃い地域でのつながりというものが一方では残っているのではないかとご指摘です。</p> <p>つながりの話が出ていましたが、愛着の話が出ていましたけれども、愛着は年代によっても変わってくるのではないかと。若い世代はやはり仕事に出かけるということもありますが、年を重ねるにつれて愛着が増していくということもあり得るので、年とかライフステージの変化によって愛着ということも考えていってもいいのではないかとご指摘もありました。</p> <p>新旧住民、観光客と住民との間の交流とか、最近増加しているのは外国人と住民との交流とか、違ったセクションになってしまっているような人たちの交流というのを促していく必要があるのではないかとご指摘もありました。</p> <p>総合戦略の評価についてですが、防犯とか防災とか高い評価を受けている部分ももちろんあるのですが、もっと高い評価を受けていいような、例えば「水道料金の安さ」というものは実は犬山が誇れるところじゃないかとご指摘があります。生活保護の話も出ていましたが、生活保護が減った背景、就労につながったから減ったのかどうか、そのあたりも指標として見ていく必要があるということで、指標自体をきちんとデザインするというか、きっちり整えていくということが、今後重要になるのではないかとご指摘がありました。</p> <p>すみません、長くなりましたが、総合するとそのような話になっていました。</p>
鈴木会長	<p>お二人、どうもありがとうございました。</p> <p>非常によくわかりました。</p> <p>さて、それぞれのグループで出された意見については全てレコーディングしてありますので、改めてそれを事務局で確認させていただきます。事務局でもう一度皆さんに確認したいところがあるようでしたら、皆さんに個別に問いかけ、問い合わせをさせていただくことがあるかもしれませんので、そのときはまた、出されたご意見、ご発言の内容について補足していただければと思います。</p>

	<p>今日ここではなかなか言いづらかったというところがもしあるようでしたら、来週の25日ぐらいをめどに、メールでも結構ですでお出しただけなら、今日の議論を踏まえての追加意見ということで、事務局で受け取らせていただきたいと思いますので、よろしくお願いします。</p> <p>もう時間が過ぎておりますけれども、次回、今日の議論が十分できない場合も想定して、29日を予備日として設けておりますが、この日をどうするかは、この後今日の議論の状況を見て、副会長さんにもご意見いただいて、一度検討させていただいてもよろしいでしょうか。</p> <p>今ここで皆さんもそれぞれご意見あるかと思しますので、もし事務局に次回もやったほうがいいということとか、今日で十分ということであるとか、それぞれお考えがあれば、遠慮なくメールでお出してください。今日の皆さんのご意見を踏まえて、次回どうするかというところは、副会長さんに残っていただいて検討したいと思います。そこら辺はお任せください。</p> <p>本日の議題は以上で整いましたので、事務局へお返ししたいと思います。よろしくお願いします。</p>
--	---

(4) その他

事務局（井出）	<p>鈴木会長、ありがとうございました。委員の皆様も、活発にご議論いただきましてありがとうございました。</p> <p>次回につきましては、今会長おっしゃったように、皆さんの今日のご議論を踏まえて、会長、副会長と相談して、またお知らせしたいと思います。</p> <p>今日は、議題については全てという形になります。</p>
---------	---

(5) 閉会

事務局（井出）	<p>本日の会議、これで閉会とさせていただきます。</p> <p>委員の皆様、ありがとうございました。</p>
---------	---